

静岡県自然学習センター整備方針の概要

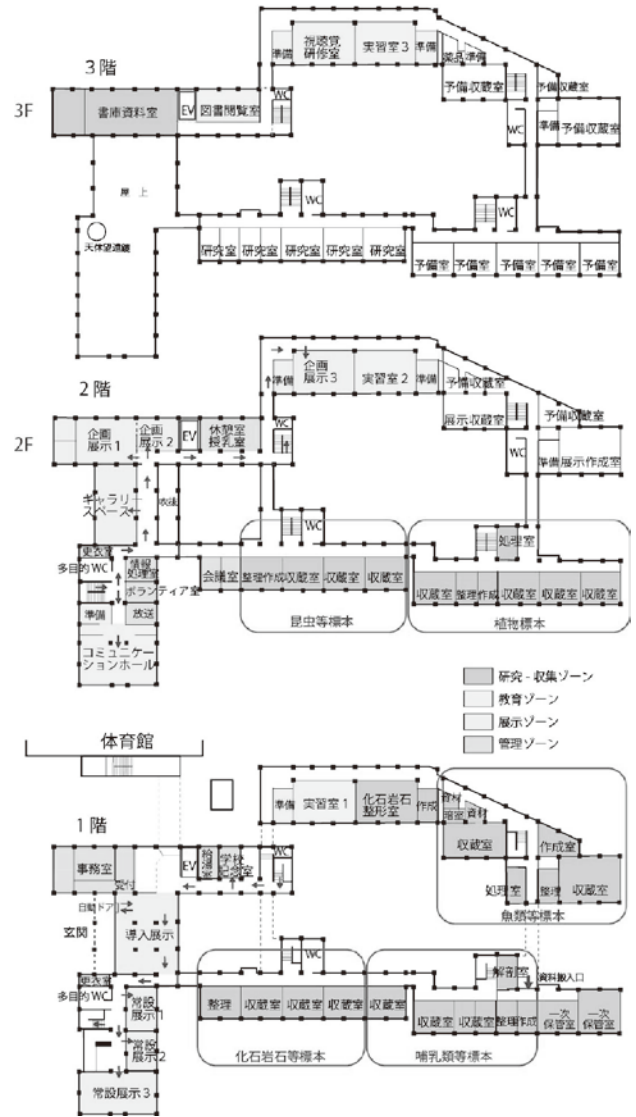
事務局

静岡県自然学習センター整備委員会は平成25年2月～3月の間に3回の委員会を開催して3月末に整備方針を発表しました。整備方針の冊子はNP0自然博ネットの総会でも配布され、ご覧になった方も多いと思います。

整備方針では、まず「残された自然遺産とも言うべき郷土の自然環境を見つめ直し、学び、親しみ、守り、育て、次世代に継承していくために、活動拠点として、収集や保管を主体に活動してきた静岡県自然学習資料センターが、平成26年度に静岡南高校跡地へ移転することを契機に、収集保管、調査研究、教育普及、展示・情報発信の諸機能を充実し、実質的に博物館機能を担う施設にリニューアルすることとしました」としています。

そして、基本方針として、①地域の自然の探究と自然史資料の保管・継承、活用、②自立と交流で育む有徳の人づくり、③郷土愛の醸成と連携による地域づくり、が挙げられ、移転後は「静岡県自然史資料館」という改称例が提案され、博物館類似施設として開館し、活動実績を踏まえて数年後に登録博物館または博物館相当施設へ移行を目指すことがうたわれています。そのため、運営体制は県直営による主体的取り組みを行うとして、館長のもと施設管理や企画広報を担う総務部門と諸機能に基づく各事業を担う事業部門を設置した組織体制をとり、事業部門には資料収集の分野に対応した植物、動物、地学担当等、必要な職員を配置することを検討するとしています。

移転にともなう整備では、静岡南高校の校舎部分とプールの敷地がその対象で、校舎全体(主に1階と2階を整備)は新施設となり、プールは埋め立てて駐車場になります。校舎内の利用配置案を右に示します。配置案の詳細については多少の変更が予想されますが、現状の旧中部健康福祉センター庵原分庁舎と比較すると施設面積は7倍で、収蔵スペースは展



静岡県自然学習資料センター配置案

示スペースとは区別してできるだけ広くとり、現状の約5倍の面積を確保しています。

整備のスケジュールは、平成25年度に設計を行い、夏以降に整備工事に着手し、平成26年度内に開所を目指すとしています。それにともない、今年度から県企画広報部政策企画局企画課では自然学習資料センター整備班が新たに設置され、4名の担当で整備にあたることになりました。